

矢来能楽堂
普及公演

は
じ
め
て
の
special



能 安達原

あだちがはら

白頭

神楽坂の文化財の能楽堂で、
はじめての能体験！

みちのく
陸奥の安達原(今の福島県安達太良山麓)が舞台。

三鬼女と呼ばれる鬼(般若面)の能。

初めての方にもわかりやすい、解説つき！

2025年

11月1日(土)

やらいのうがくどう
神楽坂 矢来能楽堂

プログラム

◆能楽師による解説

永島 充 (約20分)

はじめてでもわかる! 能「安達原」
みんなで謡おう! 謡曲「安達原」

※わかりやすいイラスト入りのテキストをお配りします。

あだちがはら

◆能「安達原」(約60分)

安達原の女(前シテ)	遠藤 喜久
鬼女(後シテ)	
山伏・阿闍梨祐慶(ワキ)	野口 能弘
同行山伏(ワキツレ)	野口 琢弘
能力(アイ)	高澤 祐介

笛	藤田 次郎
小鼓	清水 和音
大鼓	原岡 一之
太鼓	林 雄一郎

後見	鈴木 啓吾
	小島 英明

地謡	駒瀬 直也	坂 真太郎
	奥川 恒治	奥川 恒成
	佐久間二郎	石井 寛人

(終演15時20分予定)

※終了後、フォトセッションタイムがございます。
(上演中の撮影はご遠慮ください。)



「安達原」あらすじ
諸国遍歴にでた紀州の山伏の阿闍梨祐慶(ワキ)一行は、陸奥・安達原で行き暮れ、とある家に宿を借りた。
糸繰りをしつつ物語を聞かせてくれる女主人(前シテ)は、何やら由緒ありげな様子。寒さ厳しい夜、女は一行のために山に薪を取りにかけようとするが、留守中に決して寝室内をみないようにと言い残して出て行く。
しかし気になった従者(アイ)が寝室をのぞくと、死骸の山が積み上げられていた。鬼の棲家だったか!と一行はあわてて逃げ出した。
女主人は鬼女(後シテ)の本性を現し、約束を破った事を恨んで襲い掛かるものの、祐慶が五大尊明王の力で折り伏せ、鬼女は夜嵐と共に消え失せるのであった。単なる鬼ババの物語ではなく、人間のはかなさ、老いの定めを描いた曲。観世流以外では「黒塚」という曲名です。
今回は、「白頭」という小書(特別演出)でお楽しみください。

矢来能楽堂
普及公演

はじめての
矢来能楽堂
special

能
安達原

白頭

2025年

11月1日(土) 14時開演/13時30分開場

全席指定(税込): 一般 4,500円/小・中・高生 2,000円 (未就学児入場不可)

【お申込み】〈チケットオンラインサービス〉カンフェティチケットセンター

<http://confetti-web.com/@/hajimeteyarai2025115>

※WEB予約でのお客様はご予約前に「GETTIIS」

(<https://www.gettiis.jp/login>)への会員登録(無料)が必要となります。

電話予約対応 050-3092-0051 〈座席選択可〉

(受付時間 平日10:00~17:00 ※オペレーター対応)

【お問合せ】矢来能楽堂・観世九阜会 03-3268-7311

ticket@yarai-nohgakudo.com <https://yarai-nohgakudo.com/>

主催: 公益社団法人 観世九阜会

【注意事項】

●記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。●許可のない録音・撮影は一切禁止です。●上演中携帯電話は電源からお切りください。●演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合がございます。

や ら い の う が く どう

矢来能楽堂(神楽坂)



〒162-0805 東京都新宿区矢来町60番地

地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。